

1. はじめに

1月上旬は、寮の前の湖が一面凍る程気温がかなり冷え込み、湖上でアイススケートをする生徒もいた。しかし月末になると、凍っていた湖が溶け始め上旬と比べると過ごしやすい気温であった。また、いよいよ留学生活が終盤にさしかかり、帰りの事やPDⅢの事を考えたりすることが多い1ヵ月であった。

2. 生活

2.1. 授業

2.1.1. Listening and Speaking

今月はプレゼンテーションが1度あった。テーマは「留学生活で学んだこと」だ。私が留学生活で学んだことは、英語はもちろんアメリカの文化や専門知識などさまざまなことが挙げられる。今回、私はその中でも、授業で質問や発言をする大切さについて発表した。アメリカ人が積極的に授業に参加している様子が日本とは正反対だったことに、私は衝撃を受けていたのでこのトピックを選出した。アメリカ人と一緒に授業を受けていると、授業内では多くの質問や発言が見受けられる。たとえ先生の説明の途中であっても、生徒は躊躇なしにその場で手を挙げて、「当ててください、発言したいだ！」と訴えるように、先生が当ててくれるまでずっと手を挙げている。そういった授業スタイルが授業を活発化させ、生徒たちの授業内容の理解度がより深まるということを私はプレゼンテーション内で発表した。

2.1.2. Japanese Society

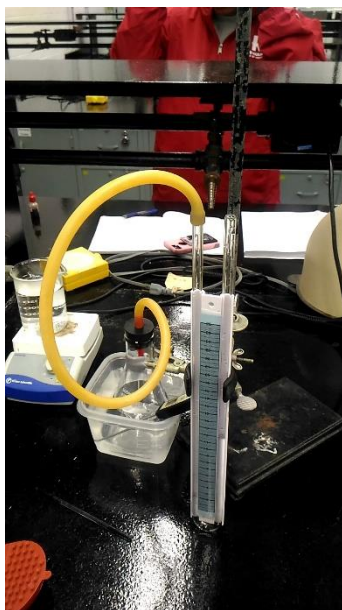
今月の大きなトピックとして、宗教、性、選挙、ギャンブルについての授業であった。宗教に関して、日本は神道や仏教、キリスト教など、いろんな宗教を受け入れているため、1年を通してそれらの宗教に関する儀式や慣習、活動がたくさんある。初詣やお盆、教会での結婚式など、そういったたくさんの方があるにも関わらず、日本人に宗教を尋ねると大半の人が無宗教と答える。個人でみると宗教を持っていないのに、日本という国全体で考えると日本は伝統ある宗教に関する文化を持っている。少しおかしい話だと思ったが、それと同時に、日本はいろんな文化を受け入れることができる素晴らしい国なのだと思う。性に関して、授業で習ったのは社会や文化的を意味するGenderの方である。日本は草食系男子と言われる人が多くいる。調査によると4割の男性がそれだという。アメリカ人にとってこの事実は信じられないようであった。そして草食系男子と少子化問題や出生率の低下について結びつけて授業を行った。また、歌舞伎や宝塚など性別を限定した文化にも注目して授業を行った。

週に1回あるディスカッションについて、ディスカッションは3,4つのグループに分かれ、各グループ進行役のリーダーが1人存在する。その進行役リーダーを1度だけ担当日があった。ディスカッション前はリーダーという重大な役にしり込みしていたが、いざやってみると、グループのメンバーが絶え間なく意見を言うので、私が進行せずとも話が進み膨らみ、あっという間の時間であった。

2.1.3. General chemistry I

主に電子についての授業を行った。電子配置や電子の軌道、電子対、電気陰性度などである。電子の配列によって元素の性質が違ってくるのとから、周期表を見ながらどういった違いがあるのかを学んだ。そのため試験では、ルイス構造式や形式電荷、各元素の軌道や性質を問われる問題が多く出た。この授業は幸いなことに、先生が試験に類似した練習問題を作成してくれるので、その練習問題をやって試験に臨んだ。結果はまだなので来月の報告書にて報告する。

実験では圧力と温度の関係、圧力と体積の関係を調べるボイル・シャルルの法則に関する実験を行った。以下にその時の写真を示す。



圧力と温度の関係を調べる実験の様子

2.2. クラブ活動

久しぶりに折り紙クラブに顔を出した。久しぶりではあったが歓迎して迎え入れてくれた。各々が作り方を見て、分からなければ気軽に周りの人に聞きながら作業している。その様子を以下の写真に示す。写真からも教え合いながら作業している様子がうかがえる。



教え合いながら折り紙を折る様子

2.3. Greatest Floor Competition

今月末にGreatest Floor Competitionというイベントがあった。これは各寮のフロアごとにチームとなり、ゲームを通して競争し合うイベントで大きな盛り上がりを見せた。ゲームの内容はさまざままで、頭脳を問われるクイズやパズル、身体能力が試されるフリースローやボールキャッチなどいろんなゲームをして楽しんだ。以下にその時の写真を示す。私の寮のチームカラーは紫色のTシャツである。寮生活ならではのアメリカらしいイベントだと感じた。



Greatest Floor Competitionの様子

2.4. Global Expo

RHIT が携わっている留学プログラムを International Students や Exchange Students が紹介するイベントがあった。全部でおよそ 20 校あり、それぞれの学校についてその国の生徒がポスターを使って、留学に興味がある人に留学の魅力やその学校の魅力を伝えるのが目的だ。その時の様子を以下の写真に示す。私も、以前 KIT の留学プログラムに参加した生徒と一緒に参加した。日本のブースに来てくれる生徒は中国人が多い印象があった。





Global Expoの様子

3. 研究

「アメリカの食生活と栄養バランス」

食生活に関するアンケート 20 人分と 1 日に摂取する食事バランス 6 人分のデータを得ることができた。食生活に関して、肥満になるたくさんの要因がアンケートから挙げられたが、共通する要因を見つけるのは難しい。強いてあげるなら、外食が多いことと 1 日の食事回数が 2 回であるということだ。多くの学生が朝食を抜いている。また、食事バランスに関して、取得した 6 人のデータから、どの生徒も食事量が多いという訳ではないようだ。むしろ少ないように感じる。食事の量が減ることがより栄養の偏りを起こさせやすいのかもしれない。

4. おわりに

先月の報告書にて、クラブへの参加と寮の人とご飯を食べるとのことであったが、どちらも数は少ないが達成できた。また、来年度の KIT - SPJ に参加する生徒がかなり多く 10 人以上と聞いた。実際に私の友達もこのプログラムに参加したいと言っている。とても嬉しいことだ。その人たちがこのプログラムに参加し KIT に訪れた際には、RHIT でお世話になった恩返しとして全力でサポートしていきたい。具体的に、私は KIT の近辺で家族と過ごしているので、日本の家族の様子や料理を体験させることができたら私としても嬉しく感じる。そして、日本の文化や素晴らしさを伝えていけたら良い。